

七重小学校

10月5日、3学年の総合的な学習の時間『きらり七飯★大発見Ⅰお米を知ろう』で稲刈りが行われました。田植えは6月3日でした。約4カ月で、黄金色の稲穂が垂れ下がるまで生育した稲を、子どもたちは鎌を手に夢中になって刈り取っていました。



学校教育への参加・参画は、JAが推進する「食のサポーターづくり」と重なる取組です。今日、私は七重小に来ていますが、他の職員は北斗市の小学校で授業に参加しています。函館市内の中学校や高校とも連携しています。

大事なテーマは「食育」です。多くの子どもたちに、食の大切さを伝えたいと思っています。

そのためには、今日のような体験活動は重要です。農の現場に来て、見て、聞いて、触って。体を動かす活動は、興味・関心を高めます。

学校には、今後も、体験を通じた学びの機会を増やしていただくことを期待しています。

見据えるのは「今」ではなく「未来」。学校と協働する活動は、子どもたちの未来、地域の未来につながります。私たちは、そのための「種まき」をしているんです。(三浦さん)



今年は、近年稀に見る「大豊作」です。天候が良かったこと、台風などの被害がなかったことが大きいね。ただ、値が安く、「豊作貧乏」のような感じもあるけど…。(小田切さん)



「地域学校協働活動」参加・参画メンバー(個人・団体)

- ★小田切清志さん(農業、鶴野町内会長、七重小学校学校運営協議会委員)
* 教育活動のための水田提供及び指導・支援
- ★JA新はこだて・生産販売部 三浦治さん(写真の方)ほか職員のみなさん
* 農業や食育のお話、田植え・稲刈りの技術指導